

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	76	学 校 名	静岡県立浜松東高等学校	記 載 者	鈴木 真一
------	----	-------	-------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	安心・安全な学習環境と健全な心身の育成	・「災害発生時に備え、時と場に応じた避難先・経路を把握している」と答える生徒80%以上。 ・「交通ルールを守っていると答える生徒」90%以上。 ・「学校行事に積極的に参加し、人間関係が充実してきたと思う」と答える生徒80%以上。 ・「悩みを相談できる人がいる」と答える生徒80%以上。 ・「日頃から私物の整理整頓、教室等の環境整備（清掃含む）を意識している」と答える生徒80%以上。 ・「生徒が利用しやすい図書館環境が整っている」と答える生徒80%以上。 ・「1年間で2冊以上の本を読んだ」と答える生徒50%以上。 ・「芸術鑑賞教室が良かった」と答える生徒80%以上。	A	A	・学校生活に対する基本的な環境整備は整っている。 ・防災教育に、地域の方が参加した点は大変評価できる。 ・自衛隊による訓練の実施は、防災教育にとどまらず、進路指導の一助にもなる。 ・努力義務ではあるが「ヘルメット着用」を進めてほしい。 ・文化祭の展示物の質が高く、自由に伸び伸びと活動している様子が見られた。 ・文化祭及び体育大会を見学した際、積極的に参加している生徒が多かった。生徒同士が協力し合っており、良い雰囲気を感じた。 ・相談できる人がいることは安心。更なる信頼関係の向上を期待する。 ・当番制の清掃活動は、生徒の負担軽減と効率的な時間の使い方を考える機会となっている。 ・読書量の目標が昨年度の3冊から2冊となったが、その中でも、半数以上の生徒が本を読んでいる結果となり安心した。
イ	地域に貢献する担い手育成のための規範意識醸成	・「欠席・遅刻・早退をしないように努力している」と答える生徒90%以上。 ・「学年行事や授業等で行った地域連携学習では、主体的に取り組むことができた」と答える生徒が80%以上。 ・「日頃から個人情報の取り扱い等に注意している」と答える生徒90%以上。 ・「さわやかな挨拶ができ、身だしなみに気を付けている」と答える生徒80%以上。 ・「学校のきまりを守って生活している」と答える生徒80%	A	A	・学校生活の規則やルールに対する基本はできている。 ・欠席・遅刻・早退に関する指導は大変であるが、保護者としては関わり続けていただけることにありがたさを感じるのではないかな。 ・地域活動は社会でも必要になるので今後も継続してほしい。 ・挨拶は自然体で良くできている。保護者の評価も高く良い傾向である。 ・社会に出てもルールを守るという意識付けに期待している。

様式第 5 号

		以上。 ・「集団の中の一員として仲間を尊重し、行動できる」と答えた生徒 80%以上。			・相互扶助の意識が高く素晴らしい。
ウ	基礎学力の定着と進路実現に必要な学力の育成	・年 2 回以上の授業参観と年 2 回の生徒による授業評価が活用されている。 ・「授業の内容に興味、関心を持てた」と答える生徒 80%以上。 ・「学んだことについて、考え、表現する力を伸ばすことができた」と答える生徒 80%以上。 ・「授業やHR活動等で、C ラーニングを活用した情報の受信や、授業の課題提出を実施した」と答える生徒が 90%以上。 ・新しい学習指導要領に対応した指導法、評価の取り組み 100% ・「朝読書や朝学習にしっかりと取り組んでいる」と答える生徒 90%以上。 ・「生徒の適性や希望を生かす適切な進路指導を行っている」と答える生徒、保護者 80%以上。	A	A	・生徒による授業評価が実施されていないため、今後は生徒の視点からの評価を含めて確認していくことが必要ではないか。 ・授業を見学した際も、興味深い授業を展開しており素晴らしいかった。 ・授業参観後の反省を次に生かしてほしい。 ・学習に向き合う姿勢は評価できる。 ・学習の振り返りとして、自身の成長をモニタリングできる生徒が育っていることは素晴らしい。 ・朝読書が図書館の利用につながることを期待する。 ・参観の機会は少なかったが、生徒と先生方との良好な関係性が感じられた。 ・三者面談の更なる充実を期待する。
エ	キャリア教育の充実	・「社会に役立つ姿勢や資質を身に付ける教育が行われている」と答える生徒、保護者 80%以上。 ・「学校外の諸活動を通して、学校と地域との連携の重要性を体感できた」と答える生徒 80%以上。 ・「部活動で頑張っている」と答える生徒 90%以上。 ・「自分の将来の生き方(進路等)について考えている」と答える生徒 90%以上。	B	B	・学校としての仕掛けが不十分。 ・達成状況としては厳しい。 ・保護者の肯定回答が、生徒並みに上がってくることを期待する。 ・今後も地域のイベント等への参加を希望する。 ・部活動は、結果より過程を大切にしてほしい。 ・アンケート結果から、社会性を身に付ける貴重な機会が生かされていることがよくわかる。 ・企業・大学・他校との更なる情報交換を期待する。
オ	開かれた学校づくりの推進	・ホームページ・インスタグラムが週に 1 回以上更新されている。 ・ホームページのアクセス数年間 50,000 件以上。 ・情報の発信が P T A 総会、発行物、メール配信等により定期的に行われている。	B	B	・生徒が SNS で情報発信することも考えてみたらどうか。 ・ホームページ等の作成は、リテラシー教育の一環として生徒が運営する形にならないだろうか。 ・保護者との進路情報共有は、昨年度より肯定回答が増加してお

様式第 5 号

		・「保護者に対して行事や進路等の情報提供が適切に行われている」と答える保護者 80%以上。 ・広報活動を目的とした中学校への訪問 年間 50 校以上。 ・来場者数 浜東祭：1,000 人以上。 一日体験入学：1,000 人以上。 オープンスクール 300 人以上			り、伝わっていると感じる。 ・他校と同日開催の文化祭では、集客が難しいと思うが、その中で 900 人の来場者がいたことは、地域や中学生に認知されている表れであると思う。 ・魅力ある学校づくりをし、広報活動を含めた学校の P R 活動が大切。
カ	教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備	・校長は、毎月の職員会議等を通して、チーム内での情報の共有化を図る。 ・職員に対するアンケートを実施し、「遣り甲斐を感じている」と答える職員 90%以上。 ・管理職及び事務室は、ペーパーレスの推進を図るとともに Google アカウントを有効活用し業務のスリム化を図る。 ・教職員全体で危機管理対応に関して意識を高め、安全安心な学校づくりを構築する。 ・定期出勤日を個人個人設定し、同僚が周知することでお互いの協力や効率的な校務を進める。 ・出張による振替や変形労働制度を積極的に利用し、超過勤務の負担軽減に繋げる。	C	B	・この項目の成果目標が漠然としており、それを達成するための行動計画が示されていない。担当者を明確にし、期限を設定していくべき。 ・生徒の笑顔が増えれば教員の遣り甲斐も増えていくのではないか。 ・情報社会の中、I C Tを活用するスキルは必ず必要になるので、すべての職員が対応できるようにしてほしい。 ・職員の勤務時間の改善は一朝一夕にできることではない中、そこを課題として認知し、改善しようとしているところを評価する。